

※表1～6は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が合わないことがあります

市民1人当たりでは… (表4)

	平成12年度	平成13年度	増減
人口	40,741人	40,746人	5人
有形固定資産	773,907円	775,831円	1,924円
投資等	63,789円	67,961円	4,172円
流動資産	43,255円	49,912円	6,657円
合計	880,951円	893,704円	12,753円
負債	440,913円	442,416円	1,503円
正味資産	440,038円	451,288円	11,250円
合計	880,951円	893,704円	12,753円

資産の推移 (表1)

	平成12年度	構成比	平成13年度	構成比
有形固定資産(建物等)	238.6億円	66.5%	238.4億円	65.5%
有形固定資産(土地)	76.7億円	21.4%	77.7億円	21.3%
投資等	26.0億円	7.2%	27.7億円	7.6%
流動資産	17.6億円	4.9%	20.3億円	5.6%
資産合計	358.9億円	100%	364.1億円	100%

目的別有形固定資産と構成比 (表5)

目的別	平成13年度	構成比	目的別	平成13年度	構成比
総務費	2,035,222千円	6.4%	商工費	95,023千円	0.3%
民生費	1,234,602千円	3.9%	土木費	7,546,767千円	23.9%
衛生費	93,952千円	0.3%	消防費	538,999千円	1.7%
労働費	9,814千円	0.0%	教育費	16,277,487千円	51.5%
農林水産業費	3,769,058千円	11.9%	その他	11,084千円	0.1%

負債の推移 (表2)

	平成12年度	構成比	平成13年度	構成比
固定負債(地方債)	137.7億円	38.4%	136.2億円	37.4%
固定負債(退職給与)	30.6億円	8.5%	31.7億円	8.7%
流動負債	11.4億円	3.2%	12.4億円	3.4%
負債合計	179.7億円	50.1%	180.3億円	49.5%

目的別有形固定資産に対する減価償却累計額と償却率 (表6)

目的別	減価償却累計額	償却率	目的別	減価償却累計額	償却率
総務費	1,193,514千円	40.1%	商工費	33,453千円	28.5%
民生費	840,099千円	49.0%	土木費	8,943,639千円	62.3%
衛生費	150,559千円	79.7%	消防費	686,236千円	59.8%
労働費	23,287千円	70.4%	教育費	4,036,069千円	25.0%
農林水産業費	2,670,960千円	46.7%	その他	45,370千円	99.1%

正味資産の推移 (表3)

	平成12年度	構成比	平成13年度	構成比
国庫支出金	38.9億円	10.8%	38.0億円	10.4%
県支出金	32.3億円	9.0%	32.8億円	9.0%
一般財源等	108.0億円	30.1%	113.0億円	31.0%
正味資産合計	179.2億円	49.9%	183.8億円	50.5%

目的別有形固定資産で分かるの維持コスト

目的別有形固定資産と  
維持コスト  
目的別の有形固定資産で分かるの

バランスシートを見てみよう  
平成十三年年度の白根市の総資産額は、三六四億一、四八八万四千円でした。負債総額は、一八〇億二、六八八万九千円です。資産の約五〇％と半分を占めています。平成十二年と比較すると、資産・負債ともに増加しています。

白根市の財政状況は、白根市では、今後も着実な行政改革を行うことにより、経費削減に取り組んでいきます。

白根市の財政状況は、平成十三年年度の財政状況は、白根市では、今後も着実な行政改革を行うことにより、経費削減に取り組んでいきます。

は、「これまでどこに比重を置いて、資産形成してきたか」「特に力を入れてきた事業のストック状況」などです。白根市の状況を見ると、最も多いのが教育費(五一・五%)で、次いで土木費(二三・九%)、農林水産業費(一一・九%)となっています。

平成13年度普通会計決算をもとにした

# バランスシートをお知らせします

市では、「市の財産はいくらあるのだろうか」や「市の借金はどのくらい残っているのだろうか」など、財政状況を分かりやすくするため、民間企業等の会計手法であるバランスシートを平成11年度の決算から作成しています。  
このたび、平成13年度決算をベースにしたバランスシートがまとまりましたので、お知らせします。

(平成14年3月31日現在 単位：千円)

借方	貸方
<b>資産の部</b> 1. 有形固定資産 (1)庁舎、大風と歴史の館など 2,035,222 (2)保育所など 1,234,602 (3)保健センターなど 93,952 (4)勤労者福祉センターなど 9,814 (5)農道整備、農村公園など 3,769,058 (6)ミニパークなど 95,023 (7)道路、公園など 7,546,767 (8)消防コミュニティなど 538,999 (9)小・中学校、学習館など 16,277,487 (10)その他 11,084 <b>有形固定資産合計 31,612,008</b> (うち土地 7,769,202) 2. 投資等 (1)投資および出資金 920,176 (2)貸付金 226,924 (3)基金 1,622,055 <b>投資等合計 2,769,155</b> 3. 流動資産 (1)現金・預金 1,785,988 (2)市税など未収金 247,733 <b>流動資産合計 2,033,721</b> <b>資産合計 36,414,884</b>	<b>負債の部</b> 1. 固定負債 (1)市債(翌年度以降償還予定額) 13,622,864 (2)債務負担行為 0 (3)退職給与引当金 3,166,894 <b>固定負債合計 16,789,758</b> 2. 流動負債 (1)市債(翌年度償還予定額) 1,236,931 (2)翌年度繰上充用金 0 <b>流動負債合計 1,236,931</b> <b>負債合計 18,026,689</b> <b>正味資産の部</b> 1. 国庫支出金 3,798,427 2. 県支出金 3,278,360 3. 一般財源等 11,311,408 <b>正味資産合計 18,388,195</b> <b>負債・正味資産合計 36,414,884</b>

## ●債務負担行為に関する情報

	平成12年度	平成13年度	増減額
①物件の購入費等(平成14年度支出予定額)	20,212	874,177	853,965
②債務保証および損失補償(債務負担行為限度額)	4,817,349	5,506,423	689,074
③利子補給等にかかわるもの(平成13年度支出予定額)	104,351	81,091	△ 23,260

**用語解説**  
**借方(お金の使い方)**  
 将来にわたり公共サービスを提供することができる価値、すなわち次世代が受けることのできるサービスを表しています。  
**貸方(お金の出所)**  
**負債**  
 将来返済すべき債務であり、次世代が負担する借金などです。バランスシートでは、その金額が明示され、資産に対する割合を把握することができます。しかし負債が多くなると、それだけ市税などからその償還と利払いに回さなくてはならない資金が多額になり、財政の硬直化を招く要素となります。  
**正味資産**  
 負債とは違い、将来の返済や支出を伴わない正味資産は、現在までの世代がすでに負担し、次の世代に引き継ぐ正味価値です。資産に対する正味資産の比率は、企業会計でいう経営体質の健全性を示す自己資本比率に相当するもので、この比率が高ければ高いほど、次世代への負担が少ないことを表しています。